# 岩手教区報

第373号
立教187年1月1日
天理教岩手教務支庁
盛岡市馬場町3-40
TEL 019-622-7962
FAX 019-623-9597

## 年祭活動二年目を迎え

教区長　鈴木眞彦

明けましておめでとうございます。昨年中は、岩手教区の上にご尽力を頂き、誠にありがとうございました。顧みれば、立教185年秋季大祭に於いて、真柱様から、諭達第4号を発布頂き、昨年の春季大祭より教祖140年祭三年千日の活動が始まりました。

岩手教区では、年祭の発表を受け、教区として何が出来るのか、主事会でねりあいを重ねる中に、これまでコロナ禍での影響により、おぢばがえりが困難な状況にあった教会長、ようぼく、信者が共におぢばに帰り、喜び勇んでいただくことで、教区内の全教会が心一つに年祭活動を進めたい、そして何よりも、をやの理、ぢばの理を戴くことが大切ではないかとの思いから「全教会おぢばがえり」を計画させて頂きました。

最初の計画では、大型バス1台一路線の計画でしたが、後に内陸、沿岸の二路線に増やし大型バス1台ずつでの運行となりました。当初は心配もありましたが、皆様のお力添えをいただき、お陰様で現地参加者を含め125人の方と、おぢばに帰らせて頂くことが出来ました。中には「団体のお陰で10年振りにおぢばに帰らせて頂いた。大変ありがたい」と喜ばれた方もおられました。

また、年祭活動の行事として、第1回目の「ようぼく一斉活動日」を12月2日に全支部で開催しました。本来であれば、10月29日に全教一斉開催でありましたが、岩手教区では日程発表以前に「教区少年会第50回おつとめ総会」が決まっており準備も進んでいたことから、特別にお許しを頂き、日程を変更しての開催となりました。「ようぼく一斉活動日」のプログラムの中に、会場ごとに設定するプログラムがあり、各支部において考えて頂くことが出来ましたが、今回は、岩手教区統一のプログラムで行うことと致しました。これも、教区内の全教会が心一つになって年祭活動をつとめさせて頂きたいと思ったからです。

今回の一斉活動日は、どの支部でも盛況に行われ、参加者からは概ね良かったとの評価も得ました。今年の「ようぼく一斉活動日」は、第2回目を6月1日（土）または2日（日）に、第3回目を11月3日（日）または4日（月）の計2回開催します。年祭に向けて、少しでも成人への道を歩ませて頂けるような活動日にしたいと思っております。

今年1年、年祭活動の上に、教区管内の皆様と共々に、喜び勇んでつとめて参りたいと存じます。

教祖140年祭



## 学生担当委員会

### 「第39回教区学生会総会」開催さる

教区学生担当委員会・教区学生会は、12月10日（日）、教務支庁に於いて「第39回教区学生会総会」を開催し、学生12人（中学生含む）、担当者5人、計17人が参加した。

午前10時より、座りづとめ、よろづよ八首総立ちを勤めさせて頂いた後、式典に移った。式典では、教区長の代理として出席した崎山道範書記が祝辞を述べ、鈴木眞浩教区学担委員長から挨拶があり、次に、本部学生会武田直也委員が本会委員長のメッセージを代読。「同じ道につながる学生が、年祭の旬に、学生としての徳を活かした活動をし、春の学生おぢばがえりでは、一人でも多くの学生と共におぢばで集いましょう」と話された。

一堂に揃った総会参加者

続いて、崎山陽平教区学生会委員長がお礼の言葉を述べたあと、さらに「一人でも多くの学生と共に、様々な活動を通して信仰を深め、春の学生おぢばがえりには、岩手教区学生会から多数参加できるよう、頑張って動員につとめたい」との決意を語った。最後に、参加者全員で、道の学生成人目標を唱和した。

式典終了後は、アイスブレイクで学生たちの親近感を深め、次いで、全員で昼食の餃子の餡を包んで焼きながら、和気藹々（あいあい）と笑顔あふれる会食となった。後片付けも全員で手分けして行い、午後からは、トーナメント戦を用いたお楽しみ行事に時間が経つのを忘れて楽しんだ学生たちは、別れを惜しみつつ午後3時解散となった。

### 訃報

及川　實〔88歳〕
奥州支部・岩一分教会前会長
令和5年11月30日出直された。

### 行事予定【1月分】

13日　学生担当委員会例会（zoom）（19時30分）
14日　少年会例会（zoom）（19時）
16日　役員会（10時）
〃　予算地方委員会（11時）
20日　青年会例会（19時）
27日　女子青年例会（10時）
31日　婦人会例会（10時）

## 第１回「ようぼく一斉活動日」
### ～年末活動に弾みを～

教祖140年祭に向かう三年千日の期間中、全５回行われる、教会本部主催の「ようぼく一斉活動日」が12月２日、教区内全支部で開催された。

親神様、教祖、祖霊様礼拝の後、開講挨拶、おつとめ、諭達第四号拝読と続き、教会本部ビデオメッセージと深谷善太郎本部員（河原町大教会長）の岩手教区全教会おぢばがえり記念講演のビデオが上映され、最後に閉講挨拶があった。参加した教友たちは、勇み心を胸にさらなる成人を誓い、解散となった。

なお、参加人数と内訳は次の通り。

九戸支部　種市港分教会　59人
二戸支部　荒澤分教会　33人
盛岡支部　教務支庁　50人
三陸支部　花宮古分教会　42人
花巻支部　花巻分教会　38人
奥州支部　岩栄原分教会　37人
県南支部　磐井分教会　60人

※教会長48人、布教所長９人、ようぼく232人、その他30人　合計319人

開講挨拶

司会

受付風景

ビデオ上映

諭達拝読

諭達拝読

諭達拝読

おつとめ



## 献血推進委員会

### 「クリスマス献血呼びかけ　ひのきしん」実施報告

教区献血たすけあいの会は、12月２日(土)、イオンモール盛岡を会場に実施された、県赤十字血液センターの恒例行事「クリスマス献血２０２３」に参加し、盛岡支部の教友５人が実動した。

当日、「ようぼく一斉活動日」と日程が重なったため、午前中のセレモニーには参加せず、午後のみの参加となった。

午後１時30分から約３時間、イーハトーブ学生赤十字奉仕団８人と盛岡市保健推進員協議会６人と一緒に、それぞれ担当の出入口にプラカードを持って立ち、献血を呼びかけるひのきしんをつとめさせて頂いた。

なお、当日の献血状況は、57人が受付し、200㎖１人、400㎖50人が採血する良好な結果となった。

## 災救隊

### 「支部幹部研修会」実施さる

災救隊岩手教区隊は、11月16日、教務支庁を会場に「支部幹部研修会」を実施し、隊員ら９人が参加した。

年末の大掃除を兼ねて、庁舎内外の窓、換気扇、エアコンなどの清掃ひのきしんを行い、さらに、屋根の一部の錆取りも実施した。

続いて行われた例会では、千葉隊長から、本部隊長会議の報告があり、今年度の活動の反省点や来年度の行事予定について、活発に意見が交わされた。

その後の懇親会では、隊員同士の交流と互いの活動を労い、翌朝解散となった。

### 「白川山林整備ひのきしん」参加報告

災救隊岩手教区隊は、11月26日、27日の両日、天理市内白川地区で実施された「白川山林整備ひのきしん」に、隊員５人が参加した。

毎年６月と11月に実施されている、本部主催の同ひのきしん。当初は、６月が岩手教区の当番月となっていたが、「岩手教区全教会おぢばがえり」参加のため、今回に延期となっての実動となった。

他教区の隊員と共に白川地区の下草の刈り払いと樹木の伐採に汗を流した岩手の隊員５人は、27日昼頃、与えられた任務をつとめ終え、その後岩手への帰路についた。

**お知らせ**

○１月21日（日）に予定されていた**青年会「はたらくようぼくのつどい」**は２月に変更となりました。